

岡山市医療的ケア児在宅医療 提供体制ガイドブック

医療的ケア児における在宅医療提供体制のあり方
検討・構築ワーキンググループ
岡山市医療政策推進課地域ケア総合推進センター

はじめに

岡山市では、在宅医療の推進を重要な課題と位置づけ、増加しつつある医療的ケア児への課題に対応するため、医療的ケア児に関わる病院、診療所医師、訪問看護師等が参画する「医療的ケア児における在宅医療提供体制のあり方検討・構築ワーキンググループ（以下、ワーキンググループ）」を平成30年12月に立ち上げ、在宅医療提供体制の構築に取り組んできました。ワーキンググループで話し合いを重ね、医療的ケア児の在宅医療提供体制の方向性として、以下の3つを示しました。

- (1) 退院時における病院・在宅の連携による在宅移行支援体制整備
- (2) 多職種の連携による在宅医療の提供体制整備
- (3) 在宅医療に関わる人材育成・確保

このたび、これらの方向性を具体的に進めていく上での第1歩として「医療的ケア児在宅医療提供体制ガイドブック」を作成しました。

退院後も何らかの医療的ケアを必要とする子どもが病院から在宅へと円滑に移行し、在宅において必要な支援を受けながら、家族とともに安心して暮らし成長していけるように、この冊子が多くの支援者に活用されることを願っています。

最後に、この冊子を作成するに当たり、ご協力をいただきました市民の皆様、医療関係者、福祉関係者等多くの皆様に感謝申し上げます。

2020年3月